

デジタル田園都市国家構想推進に向けた 地域DXソリューションのご提案

【提案分野】 ③まちづくり・観光

DNP

2022年4月5日
大日本印刷株式会社
モビリティ事業部

はじめに自治体の皆様へ

Confidential

DNP

『こんなお悩みはございませんか？』

流行り言葉の乱立…。

AI、5G、XR、GIGA、メタバース…。



デジタル化の必要性は理解するが、
何かからどう始めるのか？
地域にとって何が良くなるのか？

デジタル技術は単なる手段です。
大切なのは目指すべきまちづくり像。

1. 地域DX推進のための
コンサルティング・サービス
2. ソリューション事例のご紹介
地域のにぎわいを創出する
『MAP型地域情報発信プラットフォーム』

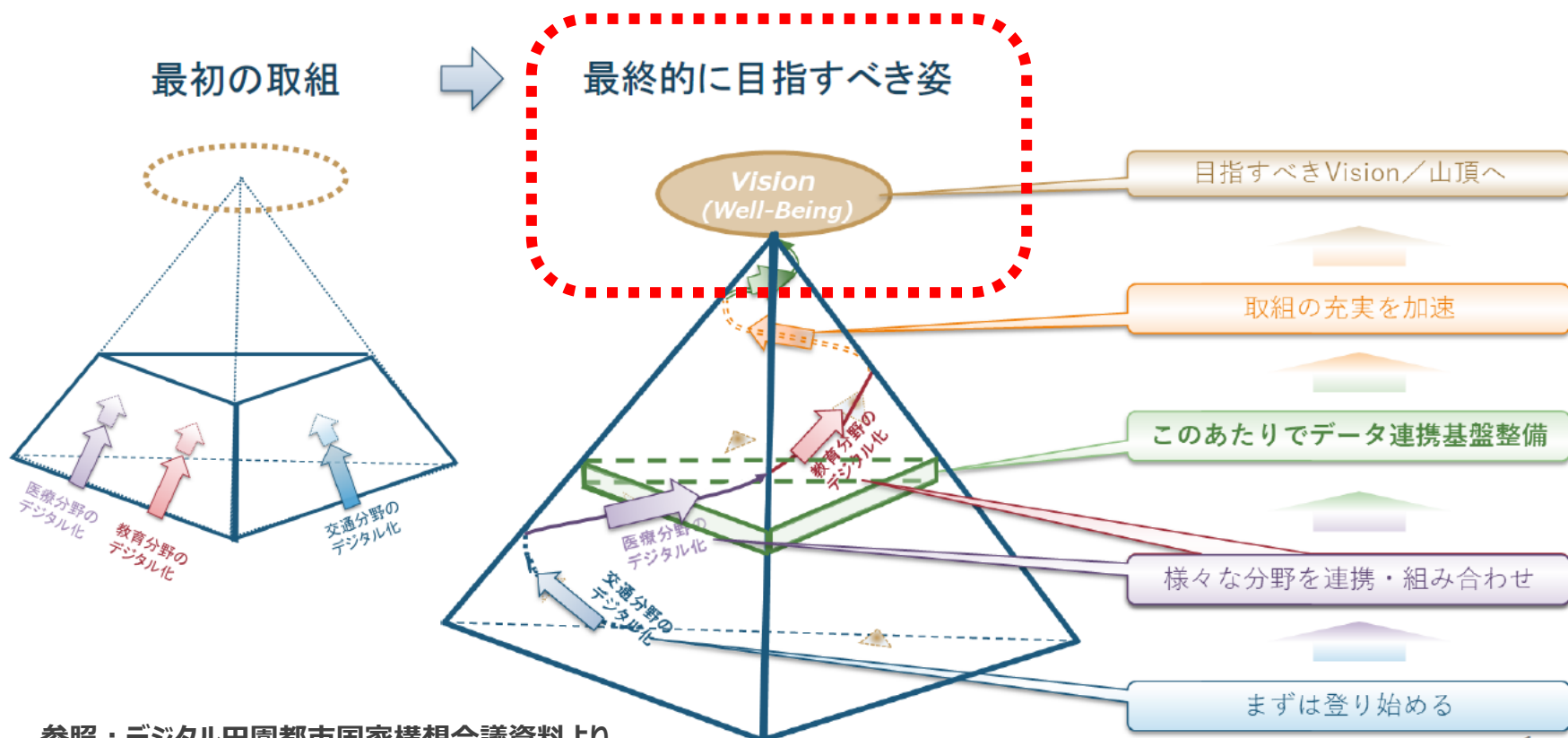
①地域DX推進のためのコンサルティング・サービス

Confidential

DNP

DNPが、まず初めに取り組むべきと考えること。

まちづくりは一つの山登り、『**目指すべき姿**』の設定が必須です。



参照：デジタル田園都市国家構想会議資料より

DNPのコンサルティング・サポート事例

Green & Digital Mie

デジタル田園都市国家構想『三重広域連携モデル』

三重広域連携プロジェクトの全体コンセプト

【Brown Field】6町連携
基礎自治体広域横断型モデル

【Green Field】全国初民間スマートIC直結施設
高速自動車国道法改正の第1号で生まれたグリーンフィールド

2021年7月グランドオープン『VISON』

敷地面積：約115ヘクタール(ナゴヤドーム約24個分)
開発面積：約53ヘクタール



<解決困難な地域課題>

- ◇少子化/高齢化/人口減少
- ◇地域医療の減少/医療費の増加
- ◇林業等地域産業の衰退
- ◇公共交通廃線による交通空白地増加

- ▶ 地域を活性化する中心拠点 (HUB) の構築『VISON』
- ▶ 生活全般の複数サービス横断型のデータ連携モデル
- ▶ Green Fieldの先端技術でBrown Fieldの地方創生

地域ごとに持っている『まちの魅力』は様々です。

それぞれの特性を活かし、『デジタルと、地域の持つ魅力を融合する』、DNPは、新たなまちづくりのコンセプトを企画推進する、自治体の皆様のサポートを致します。

① 地域DX推進のためのコンサルティング・サービス

Confidential

DNP

DNPのコンサルティング・サポート事例

地域ごとの課題や現状を整理、実施するデジタルソリューションと目指すべきゴールとの整合性を整理することが必要だと考えます。

課題背景	1. 高齢者の医療費の増加 2. 人口減少による交通空白地の増加 3. 農林水産業の高齢化・衰退 4. 医療や教育への不安 5. 町の魅力を十分に発信出来てない 6. 住みたくなる住環境が整ってない			
(KGI) 目標	住民の活性化/人口増 KGI: 人口増加率	地域事業活性化/経済成長 KGI: 地域経済成長率 (GDP)	安全安心な環境 KGI: 関係人口/交流人口	
(KPI) 目標	KPI: 人口増減率/人口転入数 KPI: 出生率/年少人口割合	KPI: 町内総生産額 KPI: 税金	KPI: 自治体国保負担額 KPI: 観光入込客数	
	【G1】魅力ある住みたくなるまちづくり	【G2】活力ある産業のまちづくり	【G3】安心安全なまちづくり	
施策分野	(1) 医療ヘルスケア 7万人のドクターネットワークと、PHR連動型の医療サービスが支える、未来の地域医療	(2) モビリティ・サービス あらゆるモビリティが自律走行可能となるデジタルインフラ「ダイナミックマップ」整備と、広域MaaS連携	(3) 地域産業活性化 林業等の地域産業を活性化させるための、一次産業におけるデータ活用と規制改革施策	(4) 地域情報発信基盤 位置情報などメタデータを活用した、観光から防災までカバーする、地域情報発信プラットフォーム開発
広域連携	(5) ゼロカーボンシティ 自然との共存と、RE100の地産地消による、ゼロカーボンシティの早期達成 ▶▶▶ 【G1】【G2】施策	(6) デジタルインフラ・防災 環境情報や、インフラ情報など、6町の社会基盤データを共通化し、維持管理の簡易化と防災ヘデータ活用 ▶▶▶ 【G3】施策	(7) デジタル地域経済圏 観光客や住民による、地域店舗の利用活性化のための、行政サービス連動型のデジタル地域通貨 ▶▶▶ 【G1】【G2】施策	(8) 多目的ツーリズム ヘルスケアや林業等の地域産業、また教育など、多目的なツーリズムプランによる交流人口の増加 ▶▶▶ 【G1】【G2】施策

総合計画/人口ビジョンと『Well-Being指標』を連携

解決すべき課題や目指すべき姿と、各ソリューションとの因果関係を整理

① 地域DX推進のためのコンサルティング・サービス

Confidential

DNP

DNPのコンサルティング・サポート事例

デジタル技術が、個別バラバラに乱立せずに、まちづくりの仕組みとして効果的に、機能するための都市OSの設計が必要だと考えます。



②ソリューション事例のご紹介

Confidential

DNP

地域のにぎわいを創出する

『MAPベース地域振興情報発信プラットフォーム』

SNS投稿
観光協会に所属するすべての会員店舗・旅館等がスポットとして登録されており、SNSを積極活用中

モビリティポート
モビリティの貸し出し状況をリアルタイム表示

現在位置 GPSから取得
モビリティ位置情報表示
実際のモビリティの位置情報と連携し、アイコンマップの上を走りまわるので、楽しく見ることが出来る

混雑状況表示
片岡温泉・アクアイクス 混雑率 14%

ライブカメラ
【ライブカメラ】国道477号(宿野交差点)

ユニバーサルトイレマップ

駐車場マップ

歴史遺跡
千種城跡
千種城は南北朝時代の公家であった千種重隆の子、経経が織川原の陣跡から移り、この城を築いたといわれています。現在は城跡に記念碑があります。

マップルート表示
マップ上に線や面を描画出来るので、ルートやエリアをわかりやすく示すことが可能

男はつらいよ プロモーション
【男はつらいよ】ロケ地めぐり 3. 定五郎峠 (高尾橋)
真ん中が橋から落ちこぼれちゃう決闘シーン。＊橋の両側に掛いた旗が2020年取り壊しとなりました。

「菰ビリティ」のパンフレットと色調を併せ、デザインを統一

Bottom navigation bar:
ライブカメラ 国道477号 2.5km
福王神社 2.5km
八風キャンプ場 2.5km
【モビリティポ】 2.5km

三重県菰野町観光協会様の事例

②ソリューション事例のご紹介

Confidential

DNP

地域のにぎわいを創出する『MAPベース地域振興情報発信プラットフォーム』

MAPベース地域振興情報発信プラットフォームとは？

DNP MAPベース地域振興情報発信プラットフォームは、地域の魅力を視覚的に伝え、まちの「今」のホットなスポット（the place to be）を伝えるデジタル地域振興メディアであり、「調べるためのメディア」ではなく**地域の魅力に「出会うためのメディア」**です。

人々は常に強い目的意識を持って行動しているという訳ではなく、楽しいことを探すときもその気持ちは曖昧だったり、**リアルタイムな事情が反映**されて流動的だったりします。この時に**必要なのは、自分が「今」どうしたいかを決定するための、より新しい情報**です。

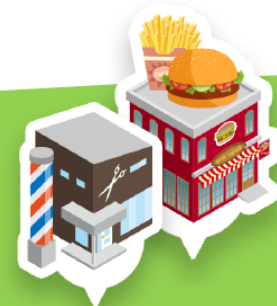
DNPのMAPベース地域振興情報発信プラットフォームは、

- ①**地図のユーザーインターフェースと、**
- ②**SNSを活用したリアルタイム情報配信で、**
人びとの行きたいと思う情報を提供します。

地域の周遊

➡ ファンの獲得

➡ 地域振興



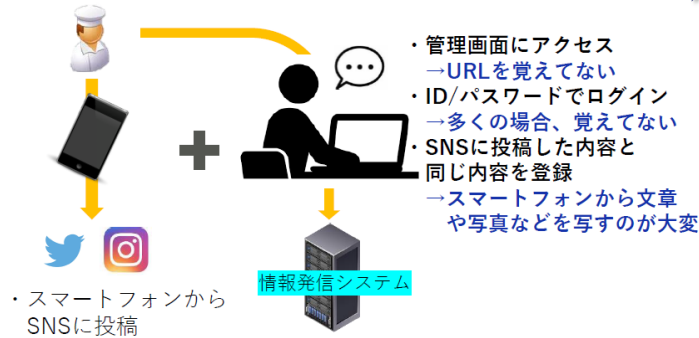
②ソリューション事例のご紹介

Confidential

DNP

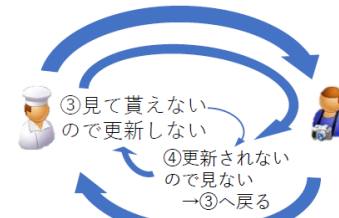
従来の情報配信方法

- ・・・情報更新が業務負担になる
- SNS + 情報サイト 更新作業 = 面倒



結果、悪循環に陥りがち

①情報更新が大変なので一度登録して終わり

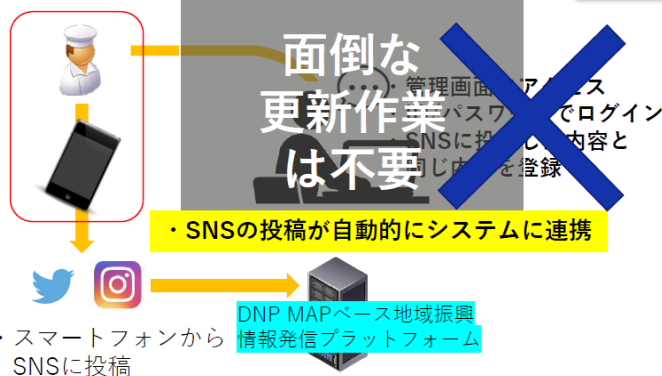


②情報更新が更新されないの一回見て終わり

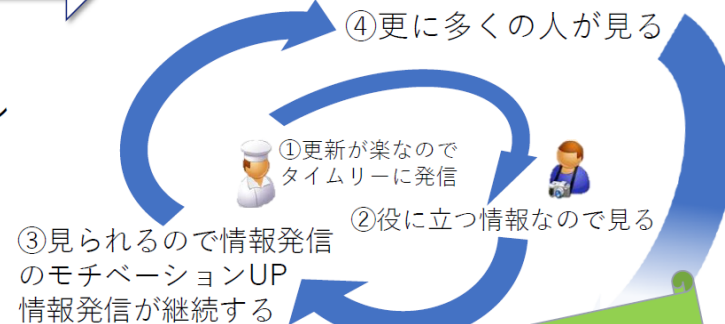
活動が縮小するばかり...

MAPベース地域振興情報配信プラットフォーム

- ・・・新たな業務負担が発生しない
- SNSだけ!



好循環での継続が可能



情報の輪が雪だるま式にどんどん広がっていく!

②ソリューション事例のご紹介

Confidential

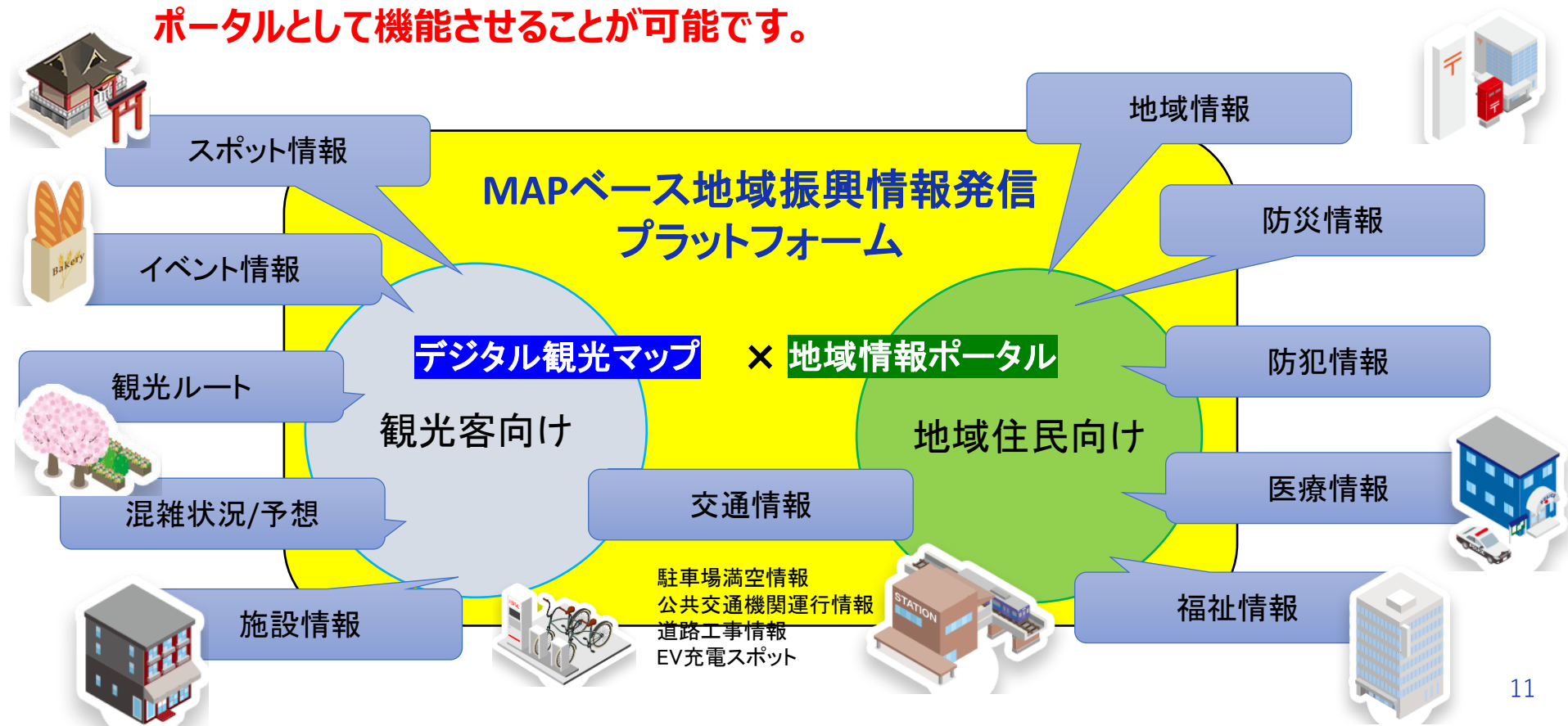
DNP

あらゆる地域情報をGISに連携

本システムをサービスとして採用頂いた地域において、観光客をターゲットにした情報と地域住民をターゲットにした情報の両方を分かりやすいユーザーインターフェースで提供します。

既にあるWebサイトへの誘導だけでなく、API連携による総合的な情報アウトプット先としての役割も果たします。

MAPベース地域振興情報発信プラットフォームを行政区の垣根を超えた地域ポータルとして機能させることが可能です。



人と社会をつなぎ、 未来のあたりまえをつくる。

Confidential

DNP

DNPは印刷で長年培ってきた情報加工・伝達の技術で事業を発展させてきました。

多様性、持続可能を理念にしたSociety5.0の実現が求められる中、私たちは地域で抱える課題にこれからのビジネス機会があると考え、「労働人口減少」「環境配慮」「医療費増」といった社会課題解決をビジネスにつなげていく取組みを行っています。



知と

コミュニケーション

食と

ヘルスケア

住まいと

モビリティ

環境と

エネルギー

4つの成長領域で、社会課題を解決する
新しい価値を提供し、『未来のあたりまえ』を実現していきます。